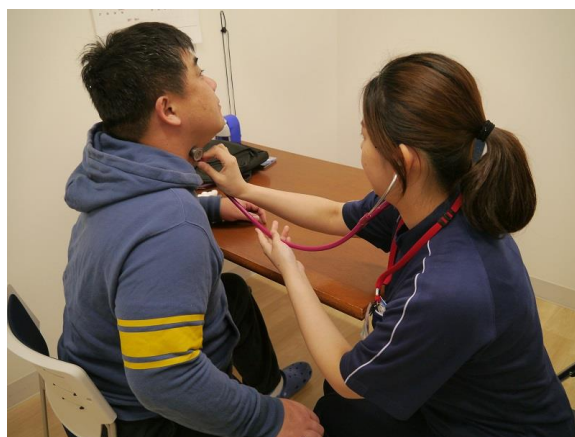


摂食嚥下機能療法とは

「摂食機能」は、食べ物を認知することから始まり、食べた物を口腔内に取りこみ、咽頭、食道を経て胃に入るまでの過程のことを言います。この過程のいずれかに異常が起こることが「摂食・嚥下障害」という疾患で、「むせる」、「飲み込みにくい」、「上手に食べられない」などの症状が現れます。しかし、疾患などで口から食事が出来なくなった患者様でも「摂食機能療法」を行うことにより、回復の可能性が見込まれます。



当院で摂食機能療法に関わる専門資格等

医師

内視鏡下嚥下機能検査 研修終了

歯科医師

口腔外科学会認定医

言語聴覚士

摂食・嚥下障害領域 認定言語聴覚士

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士

がんプロフェッショナル養成プラン終了

がんリハビリテーション研修終了

嚥下検査短期入院(二泊三日)ゴックン入院

- ・最近うまくのみこめないなあ…。
- ・お茶でむせるなあ…。
- ・のみこめたのに、のどにひっかかるなあ…。
- ・近ごろ、食事介助に時間がかかるなあ…。

ってことはありませんか？

入院中に行う事

<現状の判断>

- ・医師診察 ・血液検査 ・嚥下内視鏡
- ・嚥下造影検査 ・歯科検診 ・嚥下評価

など

<提案>

- ・誤嚥の予防方法 ・今後の栄養管理 など

<指導>

- ・認定リハスタッフ・看護師等が、運動方法、食事姿勢、食形態、食器の提案をアドバイスします。

少しでも心配な点などありましたら、お問い合わせください。施設入所の方も、連絡いただければ一度、伺わせていただきます。

嚥下(のみ込み)に関するお問合せは、

0972-83-8112

臼杵病院 リハビリテーション科 担当:ひろせ

「食べる」という行為は、生命維持に必要な栄養を取り入れる、味を楽しむ、食事の場面を通じてコミュニケーションを楽しむなど、私たちの生活においてとても大きな意味を持ちます。

臼杵病院は

「**安全に楽しく口から食べる**」を

支援します。